

国土地理院コンプライアンス・アドバイザー委員会議事概要

日 時 平成30年3月19日(月)

場 所 国土地理院 特別会議室

出席委員 委員長 出口 正義 専修大学法学部教授

委員長代理 松沼 和弘 弁護士

委 員 平沢 照雄 筑波大学人文社会系教授

議事概要

1. 審議概要

- 1) 平成29年度国土地理院コンプライアンス報告書(案)について
- 2) 平成30年度国土地理院コンプライアンス推進計画(案)について

2. 委員からの主な意見等

意 見 ・ 質 問	回 答
<p>【平成29年度国土地理院コンプライアンス報告書(案)について】</p> <p>○コンプライアンス意識向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セルフチェックでの正解率の低い問題については、何らかのフィードバックはしているのか。 ・コンプライアンスミーティング等の回数については、職員の負担になりすぎないように留意していただきたい。(意見) <p>○事業者との適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方測量部等に対するコンプライアンスについて、特に重点的に行って事項はあるのか。 <p>○入札契約手続きの見直し及び情報管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積算業務と評価業務の分離が難しいのはどのような場合か。 <p>○コンプライアンス関係通報窓口の周知と適正な運用</p> <p>○監査の強化・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・回答と解説を内部HPに掲載する際に、正解率の悪い質問については、特に抽出して掲載しています。また、諸会議等においてもフォローしています。 ・発注件数は少ないが、業者と身近に接する機会がある事から、その部分について特に重点的に行っています。 ・小さい部署だと難しいですが、分離体制の検討も含め、少しでも分離を進めていきたいと考えています。

意見・質問	回答
<p>【平成30年度国土地理院コンプライアンス推進計画（案）について】</p> <p>○コンプライアンス推進体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○職員のコンプライアンス意識向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスミーティングの全員参加、セルフチェックの全員実施は、平成29年度より厳しくなるのか。 ・参加率等は、現在でも良い状況を作れていると思われるので、今後もこの状況を継続していけば良いと思っている。職員に過度な負担とならない程度で行ってほしい。（意見） <p>○事業者との適切な対応</p> <p>○入札契約手続きの見直し及び情報管理の徹底</p> <p>○コンプライアンス関係通報窓口の周知と適正な運用</p> <p>○監査の強化・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>（全体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に国土地理院コンプライアンス・アドバイザー委員会が発足して平成29年度で丸5年を迎える。これを区切りとしてこれまでの施策を分析し、見直しも検討されてはどうか。（意見） ・コンプライアンス推進本部の平成29年度の評価を踏まえて、平成30年度の推進計画案を確実に実施されたい。（意見） 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状でも100%近い参加状況となっていることから、職員にそれほど負担になるとは考えていません。